

## 前に

来る6月21日(金)に2年生は職場体験として、国内最大級の国際貿易港である東京港に向かいます。普段、触れる機会の少ない職業の方々の仕事内容や働く姿勢について学びます。6月3日(月)に、東京都港湾振興協会の川島さんと日本海事広報協会の齋藤さんをお招きして、本番を前に、東京港の役割や外航船船長のお話を聞きました。

東京港は大都市の産業活動や住民の生活に必要な物資の流通を担う都市型総合港湾であり、取扱貨物は雑貨製品類や食料品、紙類、建設資材など、都市の活動に直結する品目の比率が高く、港勢圏は、人口4,000万人を擁する首都圏、信越、南東北など広大な地域に及んでいるそうです。

東京港の歴史について話が進むと、「大正14年に日の出ふ頭が完成、昭和7年に芝浦ふ頭が完成、昭和9年に竹芝ふ頭が完成・・・」前から知っている言葉が出てきましたので、更に注目しました。今年度、清瀬中に転勤のため、先の3月28日に三宅島より東海汽船にて竹芝ふ頭に降り立ち、29日に芝浦ふ頭にて、自動車などの引っ越しの荷物を受け取りました。三宅に赴任中は月に2~3回ほど、出張で竹芝ふ頭を利用していましたから、東京港には大変お世話になりました。



さて、本校はPTAの皆さんや事務さん、用務さんなどのお力で花壇に花々が咲き誇っています。事務さんが撒いてくれた種が発芽し、ひまわりの体を成してきました。夏を前に勢いを増しています。夏の太陽の光を浴びようと準備が進んでいます。



夏を前につゆをむかえます。今年の関東のつゆ入り予想は6月中旬。つゆといえば、アジサイが似合います。本校は裏庭にひっそりとアジサイが生息します。つゆを前にし、準備は整っているようで、青色を増していました。



つゆの雨は植物や農作物にとって必要です。この時の雨量が少なければ夏の水不足にもつながります。人間にとっても恵みの雨です。しかし、時に大きな災害を起こすこともあります。

授業を見学に3階にあがると、用務さんが屋根の上で作業をしていました。土埃が泥と化した物体が積もる屋根がきれいに。尋ねると「つゆを前に屋根と雨どいの掃除をしておかないと、雨漏りしたり樋が壊れたりしますから。生徒さんたちの学校生活に支障がないように」おそらく用務さんの仕事に屋根や雨どい周りの掃除という項目はないでしょう。本校用務さんからの、生徒への文字にならないメッセージなのだなと感じました。



陰で支えていただく方々の様々な見えない「to you」に感謝です。